

授業科目名	心理学
授業科目名(英)	Psychology
教員名	福田 みのり
開講年度学期	2021年度 前期
曜日時限	木曜3限
開講学科	工学部 応用化学科
授業形態	
単位数	2.0
学年	1~3年
科目区分	一般科目(人間科学) 講義・演習
単位区分	選択
JABEE修得要件	
教職課程修得要件	
授業概要	人間の心はどのような仕組みをもち、どのような働き方をするのであろう。実体のない対象をどう捉えられるのか。モノ、ヒト、コトにどうかかわり、どう対応していこうとしているのか。心理学の書物を読んでみても、人の具体的な個別的な心理について書かれていることは少ない。そんな疑問に答えたい。心の世界に科学的に迫ることの面白さと難しさを伝える。
達成目標	心を科学的に理解できるようなることを目標とする。そのための具体的な目標として、以下のものを置く。 1. 心理学において使用される専門学術用語、概念、理論などを理解できる。 2. 私たちの日常体験を1と関連させ、記述したり説明したりできる。 3. 1や2をふまえて、心理学を学ぶことの意味について自分なりに考えることができる。
学習教育目標	
成績評価方法	達成目標事項について、演習・小問(15点)、試験(50点)、レポート(35点)の合計に応じて以下のように評価を与える。 S: 90~100点、A: 80~89点、B: 70~79点、C: 60~69点、D: 59点以下不合格 演習・小問については毎回の授業で提出するコメントカードへの取組により評価する。 達成目標1と2について試験を課し、達成目標3についてレポートを課す。 試験及びレポートの詳細については、授業中に指示する。 再試験: 無
教科書	「心理学へのいざない」 福田廣・名島潤慈(監) 北大路書房 授業レジュメについては、適宜配布する。
参考書	必要に応じ資料配布
履修上の注意	金曜日7・8時限開講、後期開講予定の「心理学」と同じ内容のため、どれかを履修すること。
科目の位置づけ	目標A:【心理学】、論理学、環境論、国際事情、健康科学 等⇒卒業研究
	<p>【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。</p> <p>第1回: 心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること</p> <p>第2回: 心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解</p> <p>第3回: 感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性</p> <p>第4回: 知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか 図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム</p> <p>第5回: 記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか 記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶</p> <p>第6回: 記憶(2) 忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ</p> <p>第7回: 学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか 条件付け、強化、般化と分化</p> <p>第8回: 学習と動機づけ - どのようにしてやる気が生じたり減じたりするのか 観察学習、内発的動機付け、社会的動機、動因と誘因</p> <p>第9回: 動機づけの複雑さ 学習性無力感、エンハンス効果とアンダーマイニング現象</p> <p>第10回: 思考と知能 - 「頭がよい」とはどういうことか 論理的思考、知能モデル、知能指数</p> <p>第11回: 知能と性格 - 「その人らしさ」とはどういうことか 類型論、因子論、性格測定</p> <p>第12回: 臨床心理 - 個別的な心理理解と不適応への援助をどのように行うのか 意識と無意識、心理療法</p> <p>第13回: 社会心理(1) - 他者による影響や他者認知けのようなまの</p>

授業計画

- 第13回：社会心理 (1) 他者による影響や他者認知はどのように作用するか
社会的促進と社会的手抜き、同調行動、認知的不協和理論
- 第14回：社会心理 (2)
援助と攻撃、囚人のジレンマ、差別と信頼
- 第15回：定期試験
第1回から第14回までの授業内容の達成度を確認
- 第16回：定期試験の解説と振り返り

オフィスアワー 火曜日 16:20~17:50, 木曜日 14:40~16:10 4号館研究室

注意 特になし

ナンバリングコード EL9102005

授業コード 99FK050

授業科目名	心理学
授業科目名(英)	Psychology
教員名	福田 みのり
開講年度学期	2021年度 前期
曜日時限	金曜4限
開講学科	工学部 応用化学科
授業形態	
単位数	2.0
学年	1～3年
科目区分	一般科目(人間科学) 講義・演習
単位区分	選択
JABEE修得要件	
教職課程修得要件	
授業概要	人間の心はどのような仕組みをもち、どのような働きをするのであろう。実体のない対象をどう捉えられるのか。モノ、ヒト、コトにどうかかわり、どう対応していこうとしているのか。心理学の書物を読んでみても、人の具体的な個別的な心理について書かれていることは少ない。そんな疑問に答えたい。心の世界に科学的に迫ることの面白さと難しさを伝える。
達成目標	心を科学的に理解できるようなることを目標とする。そのための具体的な目標として、以下のものを置く。 1. 心理学において使用される専門学術用語、概念、理論などを理解できる。 2. 私たちの日常体験を1と関連させ、記述したり説明したりできる。 3. 1や2をふまえて、心理学を学ぶことの意味について自分なりに考えることができる。
学習教育目標	
成績評価方法	達成目標事項について、演習・小問(15点)、試験(50点)、レポート(35点)の合計に応じて以下のように評価を与える。 S: 90～100点、A: 80～89点、B: 70～79点、C: 60～69点、D: 59点以下不合格 演習・小問については毎回の授業で提出するコメントカードへの取組により評価する。 達成目標1と2について試験を課し、達成目標3についてレポートを課す。 試験及びレポートの詳細については、授業中に指示する。 再試験: 無
教科書	「心理学へのいざない」 福田廣・名島潤慈(監) 北大路書房 授業レジュメについては、適宜配布する。
参考書	必要に応じ資料配布
履修上の注意	木曜日5・6時限開講、後期開講予定の「心理学」と同じ内容のため、どれかを履修すること。
科目の位置づけ	目標A:【心理学】、論理学、環境論、国際事情、健康科学 等⇒卒業研究
	<p>【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。</p> <p>第1回: 心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること</p> <p>第2回: 心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解</p> <p>第3回: 感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性</p> <p>第4回: 知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか 図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム</p> <p>第5回: 記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか 記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶</p> <p>第6回: 記憶(2) 忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ</p> <p>第7回: 学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか 条件付け、強化、般化と分化</p> <p>第8回: 学習と動機づけ - どのようにしてやる気が生じたり減じたりするのか 観察学習、内発的動機付け、社会的動機、動因と誘因</p> <p>第9回: 動機づけの複雑さ 学習性無力感、エンハンス効果とアンダーマイニング現象</p> <p>第10回: 思考と知能 - 「頭がよい」とはどういうことか 論理的思考、知能モデル、知能指数</p> <p>第11回: 知能と性格 - 「その人らしさ」とはどういうことか 類型論、因子論、性格測定</p> <p>第12回: 臨床心理 - 個別的な心理理解と不適応への援助をどのように行うのか 意識と無意識、心理療法</p> <p>第13回: 社会心理(1) - 他者による影響や他者認知けのようなまの</p>

授業計画

- 第13回：社会心理 (1) 他者による影響や他者認知はどのように作用するか
社会的促進と社会的手抜き、同調行動、認知的不協和理論
- 第14回：社会心理 (2)
援助と攻撃、囚人のジレンマ、差別と信頼
- 第15回：定期試験
第1回から第14回までの授業内容の達成度を確認
- 第16回：定期試験の解説と振り返り

オフィスアワー 火曜日 16:20~17:50, 木曜日 14:40~16:10 4号館研究室

注意 特になし

ナンバリングコード EL9102005

授業コード 99FK051

授業科目名	心理学
授業科目名(英)	Psychology
教員名	福田 みのり
開講年度学期	2021年度 後期
曜日時限	金曜4限
開講学科	工学部 応用化学科
授業形態	
単位数	2.0
学年	1~3年
科目区分	一般科目(人間科学) 講義・演習
単位区分	選択
JABEE修得要件	
教職課程修得要件	
授業概要	人間の心はどのような仕組みをもち、どのような働き方をするのであろう。実体のない対象をどうすれば捉えられるのか。モノ、ヒト、コトにどうかかわり、どう対応していこうとしているのか。心理学の書物を読んでみても、人の具体的な個別的な心理について書かれていることは少ない。そんな疑問に答えたい。心の世界に科学的に迫ることの面白さと難しさを伝える。
達成目標	心を科学的に理解できるようなることを目標とする。そのための具体的な目標として、以下のものを置く。 1. 心理学において使用される専門学術用語、概念、理論などを理解できる。 2. 私たちの日常体験を1と関連させ、記述したり説明したりできる。 3. 1や2をふまえて、心理学を学ぶことの意味について自分なりに考えることができる。
学習教育目標	
成績評価方法	達成目標事項について、演習・小問(15点)、試験(50点)、レポート(35点)の合計に応じて以下のように評価を与える。 S: 90~100点、A: 80~89点、B: 70~79点、C: 60~69点、D: 59点以下不合格 演習・小問については毎回の授業で提出するコメントカードへの取組により評価する。 達成目標1と2について試験を課し、達成目標3についてレポートを課す。 試験及びレポートの詳細については、授業中に指示する。 再試験: 無
教科書	「心理学へのいざない」 福田廣・名島潤慈(監) 北大路書房 授業レジュメについては、適宜配布する。
参考書	必要に応じ資料配布
履修上の注意	前期開講予定の「心理学」と同じ内容のため、どれかを履修すること。
科目の位置づけ	目標A:【心理学】、論理学、環境論、国際事情、健康科学 等⇒卒業研究
	<p>【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。</p> <p>第1回: 心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること</p> <p>第2回: 心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解</p> <p>第3回: 感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性</p> <p>第4回: 知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか 図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム</p> <p>第5回: 記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか 記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶</p> <p>第6回: 記憶(2) 忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ</p> <p>第7回: 学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか 条件付け、強化、般化と分化</p> <p>第8回: 学習と動機づけ - どのようにしてやる気が生じたり減じたりするのか 観察学習、内発的動機付け、社会的動機、動因と誘因</p> <p>第9回: 動機づけの複雑さ 学習性無力感、エンハンス効果とアンダーマイニング現象</p> <p>第10回: 思考と知能 - 「頭がよい」とはどういうことか 論理的思考、知能モデル、知能指数</p> <p>第11回: 知能と性格 - 「その人らしさ」とはどういうことか 類型論、因子論、性格測定</p> <p>第12回: 臨床心理 - 個別的な心理理解と不適応への援助をどのように行うのか 意識と無意識、心理療法</p> <p>第13回: 社会心理(1) - 他者による影響や他者認知けのようなまの</p>

授業計画

- 第13回：社会心理 (1) 他者による影響や他者認知はどのように作用するか
社会的促進と社会的手抜き、同調行動、認知的不協和理論
- 第14回：社会心理 (2)
援助と攻撃、囚人のジレンマ、差別と信頼
- 第15回：定期試験
第1回から第14回までの授業内容の達成度を確認
- 第16回：定期試験の解説と振り返り

オフィスアワー	火曜日 16:20~17:50, 木曜日 14:40~16:10 4号館研究室
注意	特になし
ナンバリングコード	EL9102005
授業コード	99FK052